



6. 障害者支援



[平成9年(1997年)～]

障害者支援部会は、情報ボランティアの会(八王子)(以下、当会)の主たる活動である市民のインターネット活用支援の延長線上で自然発生的に分化したものではない。

当会発足当時から障害者支援に強い関心を持ち、個々に障害者支援活動を実践していた会員が何名かおり、中でもその設立には当会の発足当時から会員である中島重則氏と田中光久氏の強い意志が深く関与していた。中島氏は、当会に入会以前からパソコン通信を通じて在住の日野市の視覚障害者との関わりを持つようになり、障害者支援に興味を持っていた。また、田中氏は障害児に対する障害者支援に強い興味があった。平成9年(1997年)、中島氏が障害者のイベントで故豊島氏と知り合い、情報交換をしている間に、豊島氏から当会を立ち上げる為の協力要請があり、設立当初から当会の活動および運営に関わってきた。また田中氏も同様であった。

そして、平成13年(2001年)、森元首相のe-Japan戦略により全国の全ての自治体においてIT講習会を開催することとなり、当会のスタッフも数多くそれらの教育スタッフの講師・アシスタントとして関与していた。同年から八王子市では全国に先駆けて障害者向けIT講習会も実施することになり、講習会を担う団体を模索していた時に、八王子市から当会に講師・アシスタントの打診があり、当会の中島氏、田中氏、千種氏の3名が協議の上、快諾した。

当時の市の公民館などにおいてはまだパソコンの利用環境が整っていなかったため、千種氏の勤務地である東京工科大学のインターネット利用スペースにて平成13年9月に実施した。そして、この実施と前後して、当会の中に前述の中島氏をはじめとした3名を中心にして障害者支援部会の前身のグループが構成された。

平成14年(2002年)3月3日には、当会が市立公民館(現生涯学習センター)と「障害を持つ人と高齢者のパソコン利用をお手伝いする」ボランティア入門講座をクリエイトホールにて共催した。一般受講者26名、会員25名が参加し、講座終了後には一般受講者の大勢が当会に入会した。この時のメンバーがその後の障害者支援部会の主要メンバーとなる極めて重要なターニングポイントであった。

ボランティア入門講座の直後の平成14年3月16日には障害者向けアフターIT講習会を実施した。前年に実施した障害者向け講座の受講生を対象としたアフターケアであるとともに、新規入会者が現場で実践するトレーニングでもあった。ここでは14名の参加者、スタッフ19名と、1対1を上回る丁寧で充実した講座を実施した。

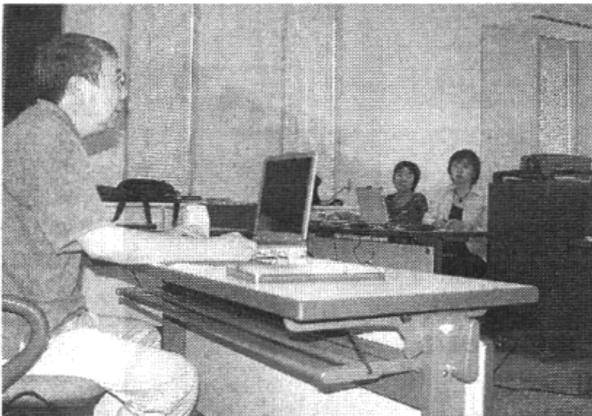
平成14年度の6月には市が「平成14年度IT障害者向け講習会実施計画案」を提示し、これに伴い、同年8月「IT障害者向け講習会の事前勉強会」(IVH会員23名、手話通訳者などを含む他団体スタッフ13名)が実施された。同年9月には知的障害、視覚障害、聴覚障害、上肢障害の4つの異なる種別向けに実施し、合計20人の障害者が受講した。それ以降ずっと当会が受託実施し、途中から全障害対応と講座を多様化していき、それ以降、毎年実施しており、現在は、情報ボランティア

障害者支援の会が受託実施している。

障害者支援部会のモットーは「ひとりひとりをおちこぼれさせない」と『教える』でなくて、『お手伝いする』を最重要視であり、平成30年(2018年)12月28日よりロードショー公開されている「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」で大泉洋が演じる筋ジストロフィー患者とその周辺の間人模様を描いている話題作にも通ずるものがある。

その後、障害者支援部会は着実に実績を積み重ねてきた。そして平成27年(2015年)4月に当会がNPO法人化する際に、クリエイトホールを活動拠点とする当会から、八王子市心身障害者支援センターを拠点とする障害者支援部会が活動の場の相違、活動日程の重なりなどの理由により、分離独立して「情報ボランティア障害者支援の会」として別々の道を歩むことになった。障害者支援の会は当会と活動は別であるが、当会の何でも相談会へ参加した障害者のサポートを引き継いだり、平成29年(2017年)11月に実施された当会の第16回タブレットとパソコン祭りの協賛をするなど、同じ「情報ボランティア」という信念を有し、今でも良好な関係を維持している。

地域ニュース 多摩2



勉強会では、パソコンを使う視覚障害者(左)から操作方法などが説明された(八王子市のクリエイトホールで)

障害者にパソコン講習 来月から 八王子で ボランティアが お手伝い

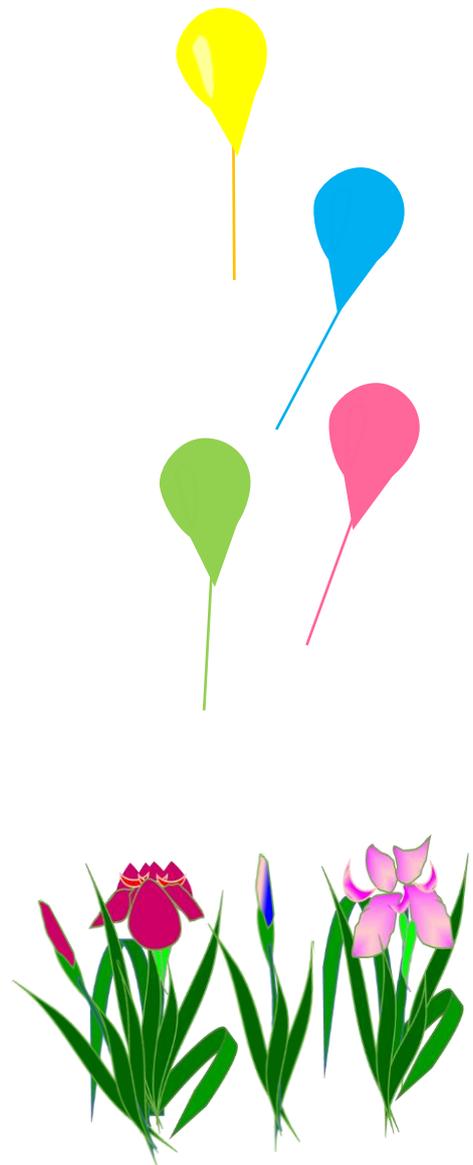
八王子市は来月から、様々な障害をもつ人たちのための初めてのパソコン講習会を開く。それを前に二十四日、同市東町のクリエイトホールで、講師のアシスタントを務めるボランティアら約十五人を集めての勉強会が行われた。

同市では昨年、視覚障害者向けのパソコン講習を開いた。好評のため今年も視覚障害者に加え、初の試みとして知的障害者や聴覚障害者、上肢に障害がある人などの講習会も開くことになった。

この日は、今回の講習会の運営を手伝う「情報ボランティアの会(八王子)」のメンバーが、様々な障害のある人向けにつくられたパソコンソフトの機能や使い方を学び、講習会に備えた。その一人、田中光久さん(42)は「講習会ではマンツーマンで指導するので、安心して楽しくパソコンを覚えてほしい」と話す。

講習会は障害別に全四回で、来月七日から市内三か所に分かれ順次行われる。申し込みは往復はがきに希望のコース、住所、氏名、電話番号、手話・要約筆記希望の有無を書き、〒192-8501八王子市元本郷町三の二四の一 八王子市役所障害者福祉課(☎0426・20・7245)まで、二十六日消印有効。

また、情報ボランティアの会(八王子)は講習会の運営スタッフを募集。申し込みは電子メール(41nomusan@masjustnet.nipponpost.jp)で野村さんまで。



2002年8月25日 読売新聞